

商品名 タダラフィル錠20mgCI「あすか」 医薬品基本情報

薬効	2590 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	一般名	タダラフィル錠
英名	Tadalafil CI	剤型	錠
薬価	0.00	規格	20mg 1錠
メーカー	大興製薬	毒劇区分	

タダラフィル錠20mgCI「あすか」の効能・効果

勃起不全

タダラフィル錠20mgCI「あすか」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、硝酸剤投与中、一酸化窒素＜NO＞供与剤投与中、可溶性グアニル酸シクラーゼ＜sGC＞刺激剤投与中、性行為が不適当又はその恐れ・疑い、心血管系障害、性交中に狭心症の既往、不安定狭心症、低血圧〔血圧＜90／50mmHg〕、コントロール不良の高血圧〔安静時血圧＞170／100mmHg〕、コントロール不良の不整脈、心筋梗塞の既往歴が最近3ヵ月以内、脳梗塞の既往歴が最近6ヵ月以内、脳出血の既往歴が最近6ヵ月以内、重度肝障害、網膜色素変性症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. チトクロームP450 3A4＜CYP3A4＞を強く阻害する薬剤投与中	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
3. Peyronie病、陰茎屈曲、陰茎構造上欠陥、陰茎線維化、多発性骨髄腫、白血病、鎌状赤血球性貧血、持続勃起症の素因となり得る疾患、勃起不全治療剤投与中、PDE5阻害剤投与中、消化性潰瘍、出血性疾患、重度勃起不全、コントロールが十分でない高血圧、高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙、NAIONの危険因子を有していた、冠動脈障害、アルコールを高用量＜0.7g／kg＞飲用	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

タダラフィル錠20mgCI「あすか」の副作用等

1. 過敏症、発疹、蕁麻疹、顔面浮腫、剥脱性皮膚炎、Stevens－Johnson症候群	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 心筋梗塞、心臓突然死、失神、起立性低血圧、色覚変化、回転性眩暈、網膜静脈閉塞、非動脈炎性前部虚血性視神経症、網膜動脈閉塞、中心性漿液性脈絡網膜症、食道炎、脳卒中、感覚鈍麻、持続勃起症、勃起延長、鼻出血、咽頭炎、皮膚そう痒症	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明

3. 潮紅、動悸、ほてり、血管拡張、心拍数増加、胸痛、狭心症、頻脈、高血圧、低血圧、霧視、眼充血、眼異常感、耳鳴、視覚障害、眼痛、流涙増加、眼刺激、結膜充血、視野欠損、結膜炎、乾性角結膜炎、眼瞼腫脹、消化不良、上腹部痛、悪心、胃食道逆流性疾患、下痢、口内乾燥、胃炎、嘔吐、腹痛、胃不快感、胸部不快感、便秘、腹部膨満、軟便、胃刺激症状、嚥下障害、肝機能異常、AST上昇、ALT上昇、 γ -GTP上昇、ALP上昇、腎機能障害、尿酸値上昇、背部痛、筋痛、四肢痛、関節痛、筋痙攣、筋収縮、筋骨格痛、筋骨格硬直、頸部痛、殿部痛、頭痛、めまい、睡眠障害、錯感覚、傾眠、不安、片頭痛、排尿困難、勃起増強、意図しない勃起、鼻閉、鼻炎、副鼻腔うっ血、呼吸困難、喀血、紅斑、多汗、爪囲炎、疲労、無力症、疼痛、体重増加、倦怠感、熱感、末梢性浮腫、粘膜浮腫、口渇
4. 死亡、心筋梗塞、重篤な心血管系等の有害事象、4時間以上の勃起延長、持続勃起＜6時間以上持続する痛みを伴う勃起＞、血圧下降、視力低下、視力喪失、非動脈炎性前部虚血性視神経症、NAION、痙攣発作、急激な聴力低下、突発性難聴、耳鳴り、めまい、起立性低血圧、精巣重量低下、精細管上皮変性、精巣上体精子数減少、平均精子濃度減少

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

タダラフィル錠20mgCI「あすか」の相互作用

1. 薬剤名等：硝酸剤

発現事象	降圧作用が増強し過度に血圧を下降
理由・原因	-

投与条件	-
指示	禁止

2. 薬剤名等：一酸化窒素供与剤

発現事象	降圧作用が増強し過度に血圧を下降
理由・原因	-

投与条件	-
指示	禁止

3. 薬剤名等：硝酸剤

発現事象	降圧作用を増強
理由・原因	NOはcGMPの産生を刺激し、一方、本剤はcGMPの分解を抑制することから、両剤の併用によりcGMPの増大を介するNOの降圧作用が増強

投与条件	-
指示	禁止

4. 薬剤名等：NO供与剤

発現事象	降圧作用を増強
理由・原因	NOはcGMPの産生を刺激し、一方、本剤はcGMPの分解を抑制することから、両剤の併用によりcGMPの増大を介するNOの降圧作用が増強

投与条件	-
指示	禁止

5. 薬剤名等：sGC刺激剤

発現事象	血圧低下
理由・原因	細胞内cGMP濃度が増加し、全身血圧に相加的な影響を及ぼす

投与条件	-
指示	禁止

6. 薬剤名等：ペルイシグアト

発現事象	症候性低血圧	投与条件	-
理由・原因	細胞内cGMP濃度が増加し、降圧作用を増強	指示	相対禁止

7. 薬剤名等：チトクロームP450 3A4を強く阻害する薬剤投与中

発現事象	本剤の血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤の血漿中濃度が上昇	指示	注意

8. 薬剤名等：PDE5阻害剤投与中

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	併用使用の経験がない	指示	注意

9. 薬剤名等：勃起不全治療剤投与中

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	併用使用の経験がない	指示	注意

10. 薬剤名等：CYP3A4阻害剤

発現事象	本剤のAUC及びCmaxが312%及び22%増加	投与条件	-
理由・原因	CYP3A4阻害によるクリアランスの減少	指示	注意

11. 薬剤名等：グレープフルーツジュース等

発現事象	本剤のAUC及びCmaxが312%及び22%増加	投与条件	-
理由・原因	CYP3A4阻害によるクリアランスの減少	指示	注意

12. 薬剤名等：HIVプロテアーゼ阻害剤

発現事象	本剤のAUCが124%増加	投与条件	-
理由・原因	CYP3A4阻害によるクリアランスの減少	指示	注意

13. 薬剤名等：CYP3A4誘導剤

発現事象	本剤のAUC及びCmaxがそれぞれ88%及び46%低下	投与条件	-
理由・原因	CYP3A4誘導によるクリアランスの増加	指示	注意

14. 薬剤名等： α 遮断剤

発現事象	立位収縮期及び拡張期血圧は最大それぞれ9.81及び5.33mmHg下降、失神等の症状を伴う血圧低下	投与条件	-
理由・原因	本剤は血管拡張作用による降圧作用を有するため、併用により降圧作用を増強	指示	注意

15. 薬剤名等：降圧剤

発現事象	自由行動下収縮期及び拡張期血圧は最大それぞれ8及び4mmHg 下降	投与条件	-
理由・原因	本剤は血管拡張作用による降圧作用を有するため、併用により降圧 作用を増強	指示	注意

16. 薬剤名等：カルペリチド

発現事象	降圧作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤は血管拡張作用による降圧作用を有する	指示	注意

17. 薬剤名等：喫煙等

発現事象	視力低下、NAION、視力喪失、非動脈炎性前部虚血性視神経症	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

18. 薬剤名等：アルコールを高用量飲用

発現事象	起立性低血圧、めまい	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』